

時代が変化しても変わってはいけない物は、世の中に多く存在し、そのひとつとして、子、親、地域の繋がりがあります。時代の変化により、コミュニケーションツールが変わり世代を超え簡単に関わる事が出来る為、関わる方の環境整備が重要だと思います。様々な関わり方がある中、今こそ親と地域が未来を担う子供たちに真剣に顔と顔を突き合わせ、向き合う事が必要だと思います。それによって1つのコミュニティーから多くの繋がりが生まれ、この地域に愛着と誇りを持ち将来への夢を持つ子供たちが増える事により、地域の輪、家族の輪の必要性を再認識できると思います。同様に、大人の背中を見て、そこに憧れや偉大さを感じなければ、子どもたちは、生きる事の目標を見失うに違いありません。大人として、子供たちに自分の言葉で生き様を語り、心で感じ、生きる事の素晴らしさを感じてもらう事で関わる人への感謝の気持ちが芽生えると思います。その為には、関わる一人一人が思いやり時には厳しく、時にはやさしく「関わる子育て」が必要であると思います。

本年で45回目を迎える「上田わっしょい」も、設立当初から変わらず続いてきた市民総和楽の想いがあります。45回を重ねるに当たり、先輩皆様の想いを継承し、時代に沿った更に市民に愛される祭りへと発展できるようにしてまいります。何より、先輩皆様の想いを知り継承する必要性についても事業の中から感じ、我々から次世代へも継承し、明るい豊かな社会へ向け挑戦して参ります。